

【令和8年度 予算要求の方針】

市議会は、地方自治制度における二元代表制の一翼を担っており、執行機関とは独立・対等の立場で、議案等の審議・審査により北九州市の意思決定を行うとともに、市長や執行機関を適切に監視・評価を行い、市政の課題に対する政策提言を行う等の役割を有しています。

また、近年では、社会経済情勢の変化に的確に対応し、市民の負託に応えるため、不断の議会改革や効率的な議会運営などに取り組んでいます。

市議会としては、今後とも、議会運営委員会や議会改革協議会等による協議を積極的に進め、市民との協働による開かれた議会の実現を図り、市民の福祉の増進及び市勢の発展に寄与することとしており、市議会事務局としても、議会活動を支援し、効果的かつ円滑な議会運営の確保に努めます。

【令和8年度 予算要求の基本的な考え方】

⑨：新規事業、⑩：拡充事業

要求額 406百万円 (対前年度 +1.1%)

●市民に開かれた議会の実現

市民が市政に関心を深めることができるように、本会議や委員会のインターネット配信など、議会広報を引き続き充実させていくとともに、市議会への関心をさらに高めるため、「(仮称)広報委員会」の設置、「議長定例会見」の中継及び配信、主権者教育の推進など、広報活動を強化する様々な取組を推進します。

- ・⑨ 市議会広報活動強化事業
- ・市議会だより・市議会中継配信事業
- ・市議会中継システム更新事業



●議会の機能強化

人口減少や急速に進む少子・高齢化、デジタル社会への対応など、社会経済情勢の変化を踏まえ、市政の課題について調査・研究し、政策立案及び政策提言を行うための環境整備など、議会の機能強化を図ります。

- ・⑨ 議場モニター新設事業
- ・市議会タブレット端末の運用
- ・市議会政策立案の支援

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和8年度に実施することが確定しているものではありません。

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

「稼げるまち」の実現		
該当なし		
「彩りあるまち」の実現		
該当なし		
「安らぐまち」の実現		
該当なし		
その他の取り組み		
1	新	【事業名】市議会広報活動強化事業 【事業費】2,784千円
		【事業概要】 市民に開かれた議会の実現に向けて、「（仮称）広報委員会」を設置するほか、「議長定例記者会見」の中継及び配信、「主権者教育」の推進、「（仮称）議員と語ろう」の開催など、本市議会の広報活動を強化する様々な取組を推進します。
2	新	【事業名】議場モニター新設事業 【事業費】4,473千円
		【事業概要】 市民に開かれた議会の実現に向けて、議場において、本会議での発言内容の字幕表示や、傍聴者へ議員配布資料の表示などを行うため、モニターを設置します。